

3 班

あたしたちの
けんきゅう
研究テーマは？

ハーブを👁️👁️
生かすくらし

ぎもんてん 疑問点①

鹿背山の「みんなの庭」で
ハーブを見つけたよ。
なぜ、植えられて
いるのかな？

ぎもんてん 疑問点②

ハーブの役割って
なんだろう？

おもしろ発見！

肉や魚の臭みをなくすのでお料理の香りづけに。
食欲を増進させる。害虫やカビなどから守る。薬として使われる。
ほかにもハーブは身近なものにも使われているよ…
虫除けスプレーや入浴剤にも！
ハーブを食べてみたら、想像していた
味とは違って、少し青くさく苦みがあった。



これからの課題

においの強いハーブを、畑の農作物
の近くに植えると、虫や動物から守れる
かもしれない。
ハーブと自然と人間の関わりを
もっといろいろ調べてみたい。

3 班

4 班

あたしたちの
けんきゅう
研究テーマは？

みつけてみよう
自然の秘密

ぎもんてん
疑問点

里山と城山台の
木の違いいってなんだろう？
どうして 木のみつに虫が
よってくるのかな？



どんな方法で？

里山のクヌギと
城山台のクヌギのみつを
比べてみたよ。

調べてみて
あかったこと！！

里山のクヌギは、
みつが水みたいで、しかも

出にくい。城山台のクヌギはみつがとろとろしていて、たくさん出る。

里山の木も城山台の木もみつは木の根のほうにあったよ。

茶色のクヌギのみつを温めるとハチミツみたいに黄色になるかな？

試してみたよ。色がもっと茶色になっただけ。ハチミツのみつと

クヌギのみつは違うね。みつのすっぱいにおいの正体は「酢酸」。

この成分に虫があつまってくることがわかりました。

4 班

5 班

あたしたちの
けんきゅう
研究テーマは？

みんなの庭
ビオトープ

もくてき
目的

学校のビオトープに
もっと生きものを呼ぶために、
鹿背山にある「みんなの庭」
とビオトープとの違いを
調べてみよう。

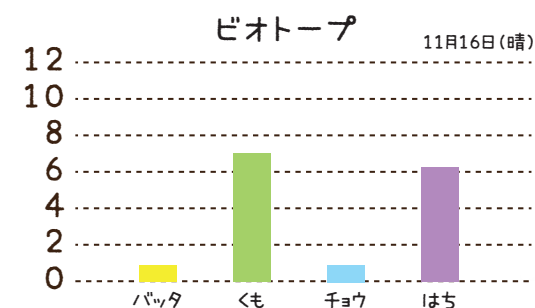
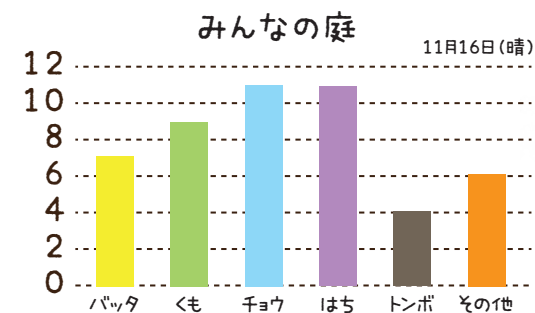
どんな方法で？

同じ時刻に
鹿背山とビオトープに
あかれて虫の数や種類、
違いを調べました。
(調査は同じ場所で)



調べてみて
あかったこと!!!

生きものの数が、
鹿背山の「みんなの庭」の方が多い。



ビオトープを鹿背山に近づけていく

には、木などを植えて、生きものたちが

住みやすい環境を作っていくのが

大切だとわかりました。

5 班



6 班

あたしたちの
けんきゅう
研究テーマは？

水質検査
水の検査

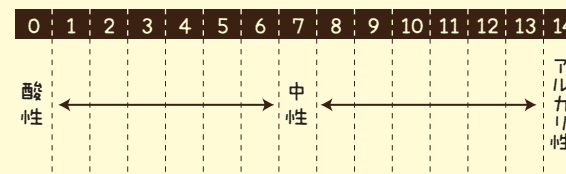
ぎもんてん
疑問点

鹿背山の池がとっても
にごっていました。
どれくらいよごれて
いるんだろう？

どんな方法で？

鹿背山の池の水だけではなく、
身近な水道水、ビオトープ、プールも
水質検査や顕微鏡を使って
調べてみたよ。

PH検査



ビオトープ(城山台小学校)	結果	6.5
プール(城山台小学校)	結果	9
水道水(城山台小学校)	結果	7
池(鹿背山)	結果	6.5

調べてみて
あかったこと!!

6 班

鹿背山には自然がたくさんあるけれど、それに比べて

城山台は自動車が通ったりしていて鹿背山より自然が

少ない。このことから自然がたくさんある鹿背山の水は

動植物が生きやすい水質(生きやすい水)だと考えら

れる。鹿背山の池の水はビオトープの水より、微生物

がたくさんいて、生きものが住むのによい環境でした。

みんなのギモンを調べて、あかったこと。

自分たちのふるさとを
つくっていききたい。

里山の森の木を
まちに植えて
ふやしたい。

もっと里山に行って
遊びたい。

里山の生きものを
もっと調べたい。

里山には
自然がいっぱい。

里山を大切に守り、大切に活かす。
これからの新しいまちづくりのヒントになるといいな。

かせやま
「鹿背山ものがたり」里山絵本シリーズ 3

なんでやろ?なんでかな?

—里山のふしぎをしらべよう—

2019年 3月

はっこう かせやま
発行:鹿背山元気プロジェクト



鹿背山元気プロジェクトは、鹿背山の里山再生をすすめる木津川市民、森林ボランティアが集う団体です。
城山台小学校と連携して里山での自然観察授業や校庭の里山づくりをサポートしています。
私たち活動団体が、木津川市や学識者と話し合っ「みもろつく鹿背山再生プラン」を作成しました。
これは里山の将来像で、「生物多様性基本法」に基づいて日本で初めてつくられた保全活動計画です。

◎鹿背山元気プロジェクトの連絡先 nnnet58@icloud.com

◎鹿背山元気プロジェクトのホームページ「鹿背山創造の森」 <http://www.kaseyama-sozo.com/>

◎木津川市のホームページ「みもろつく鹿背山再生プラン」
<http://www.city.kizugawa.lg.jp/index.cfm/10,11003,47,html>

プロデューサー : 中村 伸之

アートディレクター : 李 眞子・福田 藍・加藤 史江

エディトリアルデザイン : 松田 祥宏

協力 : 木津川市立城山台小学校



城山台小学校でのワークショップは、木津川市ふるさと応援事業補助金、
この冊子の制作は夏原グラント(公益財団法人平和堂財団)の支援を受けて実施しました。

